

第24回市民自治推進委員会 防災・環境部会会議録

(敬称略)

開催日時	令和3年11月26日(金) 18:00~19:00
開催場所	登別市役所 2階 第2委員会室
出席者	(部会長)川島 芳治 (部会員)南 行雄、村井 広勝 (庁内委員)土門 和宏 (事務局)大越 智輝、佐々木 健、徳野 隼也 (関係職員)田中 弥寿雄(環境対策グループ) 菅野 淳(環境対策グループ)
欠席者	(副部会長)和泉 薫、丸 博子、遠藤 潤、篠原 知紀
議題	・登別市環境基本計画(第3期)について

【登別市環境基本計画(第3期)について】

●環境対策グループより登別市環境基本計画(第3期)について、計画(案)に沿って説明があり、以下のとおり質疑応答が行われた。

・「3.3 人と自然が共生するまちづくりの推進」の「基本目標3.2 森林の保全」について、市街地から登別温泉町までの道道付近の土地や、天華園跡地などにおいて太陽光発電用地として森林が伐採されている場所が散見される。森林の減少は土砂災害の原因となり得るのでしっかり対策していただきたい。

(部会員)

→無秩序な森林伐採の防止については、北海道等と連携した取り組みを進めることとしている。(環境対策グループ)

・海洋プラスチック等のごみが海岸に多く流れ着いているが、国や北海道はどう考えているか。(部会員)

→ごみの処理については北海道へ要望しており、予算に限りがあることから大々的に清掃することはできないが、必要な箇所については清掃したいと聞いている。(環境対策グループ)

・流木なども多く流れ着いているが、北海道によると重機がないと撤去が難しいとのことである。海岸清掃については市が北海道と連携してやっていかなければならないと思う。(部会員)

→海岸清掃をボランティアでしていただける場合は、クリンクルセンターでポ

ランティア用ごみ袋の配布を行っているので今後ご協力をお願いしたい。
また、流木や家電製品等の大型ごみの処理については、海岸管理者にお願いしているのが現状である。(環境対策グループ)

・クリーン作戦の実施により多くのごみを清掃しているが、実施回数について現状の年2回で十分であるのか、もし考えがあれば教えてほしい。(部会員)
→実施回数は多いほうがよいと思う。一方、ごみの回収にも費用が発生しているため、そのバランスを見て実施回数を検討しなければいけないと考えている。(環境対策グループ)

・環境学習の推進について、通学路などの清掃を行なっている学校と行っていない学校があるように感じるが、すべての学校が清掃を行うよう働きかけることは可能であるか。(部会員)
→ボランティアごみ袋の配布状況から、どの学校においても定期的に取り組んでいただいていると認識している。(環境対策グループ)

・市内には雑草の茂った公有地が多くあるが、定期的に草刈りをすることは可能であるか。(部会員)
→例えば、市街地から登別温泉町までの道道について、過去には北海道が年3回の草刈りをしてきたが、近年は予算削減により回数が減少しており、定期的な草刈りをするのがなかなか難しいのが現状である。(環境対策グループ)

・町内会のごみ清掃は一生懸命やっていると思うが、大型ごみなどの不法投棄に関してはパトロールなどを行わないとなかなか減らないのではないか。(部会員)
→プライバシーの問題もあり設置が難しいこともあるが、監視カメラの設置を少しずつ増やしていきたい。現在、国から監視カメラを1台借りて設置しているところでは効果が出ているため、他の場所にも設置をできないか検討をしている。(環境対策グループ)

・生活環境分野について、温暖化の影響でゲリラ豪雨などがあり、新生町や若草町において排水が間に合わないことがあった。こういった防災上の観点については本計画に記載されないのか。(部会員)
→本計画は、環境に関する基本的な計画を定めたものであるため、防災上の観点についての記載はない。水害に関する記載については現在改定中の登別市防災マップに掲載され、年度内に完成予定である。(総務部・環境対策グループ)

- ・登別市では今後、充電ステーションを増やす予定はあるか。(部会員)
→充電ステーションについては、現在、国の補助により本庁舎に1か所設置している。国の補助では1か所しか設置できない。予算の関係から市のお金だけで2か所目を設置することは考えていない。今後は民間による設置が増えていただければと考えている。(環境対策グループ)

- ・クリンクルセンターの延命または新設については本計画に記載されないのか。(部会員)
→本計画は、環境に関する基本的な考え方を定めたものであるため記載されないが、別の計画で記載することとしている。(環境対策グループ)

- ・省エネルギーの関係について、街路灯のLED化が一時進んだように感じたが現在はどのような状況であるか。(部会員)
→防犯灯については市民協働グループの補助により町内会に設置していただいている。一部費用は町内会の負担となるため、町内会によりLED化の進捗にはばらつきがあるが、令和2年度末時点で78.8%の防犯灯がLED化されており、半数程度の町内会は100%LED化が済んでいる。今年度も多くの申請があったため、現在は80%程度LED化されたのではないかと。(総務部・環境対策グループ・市民協働グループ)

- 全ての質問が終了したため、今後も質問等があれば環境対策グループまたは市民協働グループまでご連絡いただくよう案内し閉会となった。